



平成30年8月24日（金）

記者発表資料

国土交通省関東地方整備局
利根川水系砂防事務所

浅間山火山噴火緊急減災対策として、 にごりかわ 濁川砂防堰堤工事の起工式を開催します。

利根川水系砂防事務所では、平成24年度より直轄火山砂防事業として浅間山の火山噴火緊急減災対策を実施しております。
この度、長野県側の「濁川砂防堰堤」の工事を着手することとなりました。
つきましては、下記のとおり起工式を開催します。

記

○開催日時

平成30年8月26日（日） 14時00分～

○会場

長野県北佐久郡御代田町大字馬瀬口1901-1 エコールみよた
TEL：0279-32-2770

○内容

挨拶、事業説明、来賓祝辞、楠玉開披等

○主催

利根川水系砂防事務所

※当日は取材可能です。

（取材を希望される場合は、当日、会場受付までお越し下さい。）

発表記者クラブ

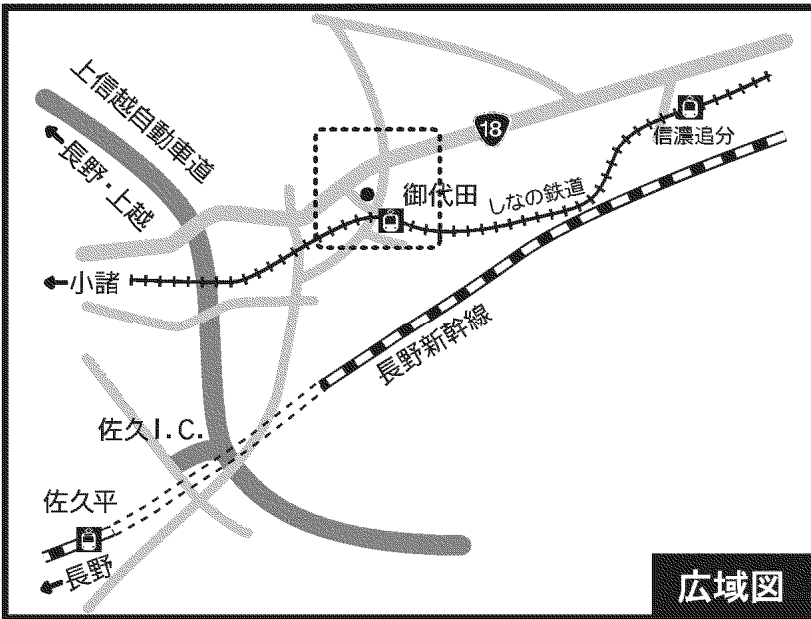
竹芝記者クラブ	刀水クラブ（群馬）
神奈川建設記者会	テレビ記者会（群馬）
渋川記者クラブ	長野県庁会見場
佐久記者クラブ	

問い合わせ先

関東地方整備局 利根川水系砂防事務所
住所：群馬県渋川市渋川121-1
電話：0279-22-4177（代）
FAX：0279-23-4791
副所長技術：杵淵 新一（きねぶち しんいち）
工務課長：廣井 幸治（ひろい こうじ）
URL：<http://www.ktr.mlit.go.jp/tonesui/>

会場案内図

- JR長野新幹線軽井沢駅乗換え、しなの鉄道御代田より徒歩7分
- JR長野新幹線佐久平駅より車で15分
- 上信越自動車道佐久インターより車で10分



浅間山直轄火山砂防事業 濁川の基本対策施設となる濁川砂防堰堤工事

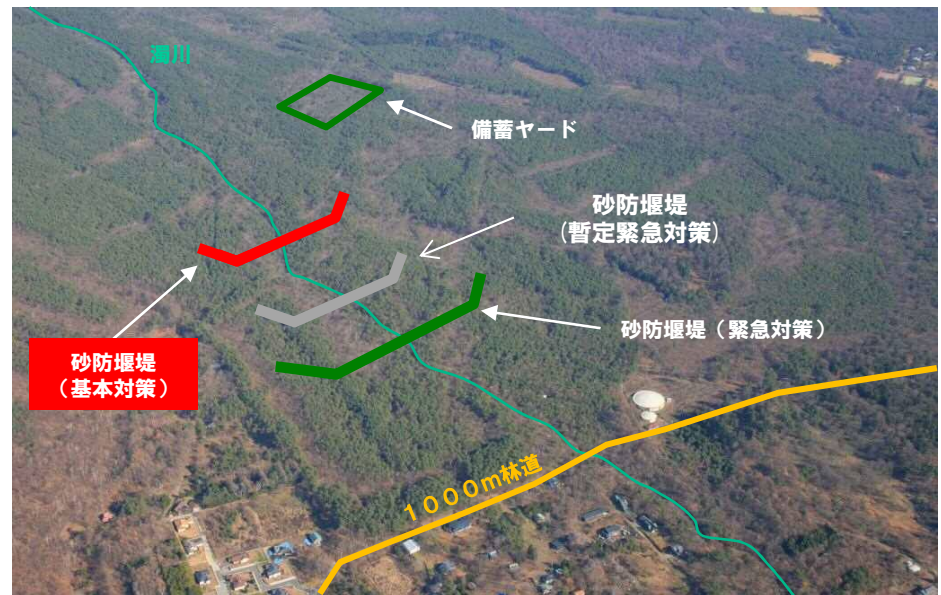
事業概要

浅間山は国内でも有数の活発的な火山です。天明3年（1783）の大噴火では、火砕流・泥流等の発生により、山麓や利根川上中流域に大きな災害をもたらしました。また、中規模噴火は概ね20年間に1程度、最近では2004年、2009年に起こしています。活動が活発となった2015年にごく小規模な噴火をし、噴火警戒レベルが2のまま推移しています。

一方で、浅間山周辺には6市町村約20万人が住居しています。また、別荘やリゾート施設もあり、国道、北陸新幹線、上信越自動車道等の重要な交通網が整備されています。

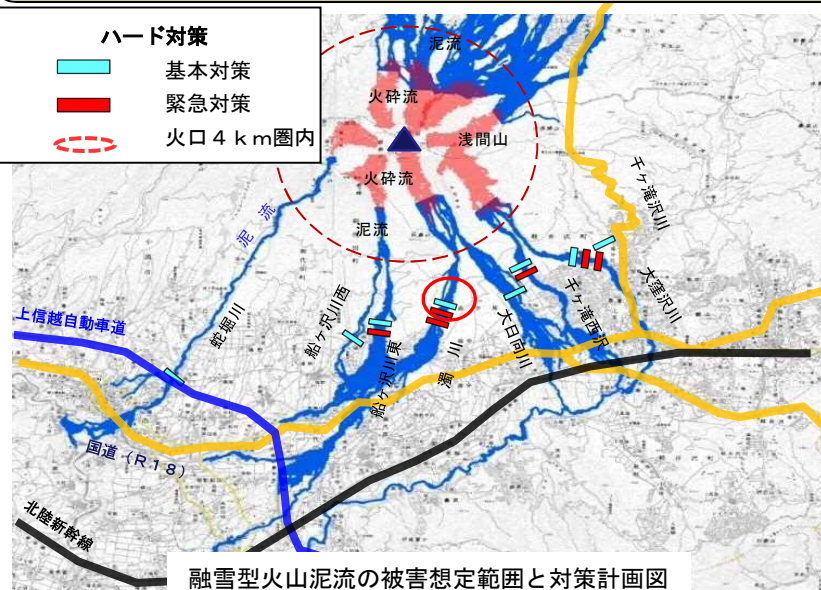
このことから平成24（2012）年度から浅間山の噴火の際に発生する可能性のある融雪型火山泥流と噴火後の土石流を対象とした「火山噴火緊急減災対策」砂防事業に着手しています。この事業では、平常時対策（砂防堰堤等の基本対策施設の建設、資機材の備蓄）と緊急時対策（火山活動を考慮して迅速かつ効果的な工事）を行います。いよいよ今年度より濁川の基本対策施設となる砂防堰堤工事が始まります。

施工箇所周辺写真



ハード対策

- 基本対策
- 緊急対策
- 火口4 km圏内



融雪型火山泥流の被害想定範囲と対策計画図